

力 スポーツ活動の状況及び趣味・娯楽活動の状況

前記オと同様の変更を行うほか、趣味・娯楽活動の種類について、「映画鑑賞」及び「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」を「映画館での映画鑑賞」及び「映画館以外での映画鑑賞」にそれぞれ変更する。また、「映画館以外での映画鑑賞」及び「カラオケ」の配置を変更する。

その他、注釈の文言を変更する。

21 スポーツ	趣味・娯楽について	0: まったくしなかった T: 1分~10分にまで S: 10分~19分(週に1~3日) L: 10分~19分(週に4日以上)	1: 1~4日 T: 20分~30分(月に1~2回) S: 30分~39分(週に1~2回) L: 30分~39分(週に3日以上)	2: 5~7日 T: 40分~1時間(週に1~2回) S: 1時間~1時間半(週に1~2回) L: 1時間以上(週に3日以上)		
<スポーツ> ・単に興味がしている場合や授業・研修として行うものは除きます ・クラブ活動や部活動は含めます ・この1年間に1日もしなかった場合を含め すべての項目に記入してください	野球 (キャッチボールを含む) → . ソフトボール → . バレーボール → . バスケットボール → . サッカー (フットサルを含む) → . 卓球 → .	テニス → . パドミントン → . ゴルフ (練習場を含む) → . 乗道 → . 剣道 → . ゲートボール → .	ボウリング → . つり → . 水泳 → . スキー・スノーボード → . 登山・ハイキング → . サイクリング → .	ジョギング・マラソン → . ウォーキング、軽い体操 → . 器具を使ったトレーニング → . その他のスポーツ (した場合は) (どのような趣味をベースとするか記入)	☐	☐
<趣味・娯楽> ・授業・仕事および家事として行うものは除きます ・クラブ活動や部活動は含めます ・この1年間に1日もしなかった場合を含め すべての項目に記入してください	スポーツ観戦 → . (例えばサッカー、野球、ラグビー、バスケットなど) 美術鑑賞 → . (例えば美術館、博物館、画廊など) 演劇・演劇・舞踊鑑賞 → . (例えばオペラ、バレエ、現代舞など) 映画館での映画鑑賞 → . 教書館以外での読書 → . (例えば図書館、カフェなど) 音楽会などによるクラシック音楽鑑賞 → . 音楽会などによるポピュラー音楽鑑賞 → . CD/DVD/Blu-ray鑑賞 などによる音楽鑑賞 → . 楽器の演奏 → .	読書 → . (文庫、日本史等の書籍を含む) コーラス・声楽 → . カラオケ → . 邦楽・おどろ → . 洋楽・社交ダンス → . 書道 → . 茶道 → . 和歌・洋画 → .	編み物・手芸 → . 模型製作としての料理・菓子作り → . 園芸・庭いじり・ガーデニング → . 日曜大工 → . 紙巻・彫刻の制作 → . 陶芸・工芸 → . 写真の撮影・プリント → . 俳句・短歌・俳句小説などの創作 → . 趣味としての読書 → .	囲碁 → . 将棋 → . パチンコ → . テレビゲーム・ビデオゲーム (家族で楽しむ、商業版を含む) → . 遊園地、動物園等、水族館などの見物 → . キャンプ → . その他の趣味・娯楽 (した場合は) (どのような趣味をベースとするか記入)	☐	☐

23 スポーツについて

- 単に見物している場合や観戦・研修として行うものは除きます
- クラブ活動や部活動は含めます

(1)どのようなスポーツをしましたか

したかどうか	した	しなかった
野球 (キャッチボールを含む)	☐	☒
ソフトボール	☐	☒
バレーボール	☐	☒
バスケットボール	☐	☒
サッカー (フットサルを含む)	☐	☒

(2)この1年間に何日ぐらいましたか
(右の1~7の数字で記入)

つづき	したかどうか	した	しなかった
(1)卓球	☐	☒	☒
テニス	☐	☒	☒
パドミントン	☐	☒	☒
ゴルフ (練習場を含む)	☐	☒	☒
乗馬	☐	☒	☒
剣道	☐	☒	☒

つづき	したかどうか	した	しなかった
(1)ゲートボール	☐	☒	☒
ボウリング	☐	☒	☒
つり	☐	☒	☒
水泳	☐	☒	☒
スキー・スノーボード	☐	☒	☒
登山・ハイキング	☐	☒	☒

つづき	したかどうか	した	しなかった
(1)サイクリング	☐	☒	☒
ジョギング・マラソン	☐	☒	☒
ウォーキング、軽い体操	☐	☒	☒
器具を使ったトレーニング	☐	☒	☒
その他のスポーツ	☐	☒	☒

(おなじ欄を一つずつ記入してください)

1: 1~4日 5: 40~99日(満二ヶ月)
 2: 5~9日 6: 100~199日(満三ヶ月)
 3: 10~19日(月に1回) 7: 200日以上(満四ヶ月以上)
 4: 20~39日(月に2~3回)

24 趣味・娯楽について

- 娯楽・仕事及び家事として行うものは除きます
- クラブ活動や部活動は含めます

(1)どのようなことをしましたか

したかどうか	した	しなかった
スポーツ観戦 (テレビやDVDなどは除く)	☐	☒
美術鑑賞 (テレビやDVDなどは除く)	☐	☒
演劇・演劇関係鑑賞 (テレビやDVDなどは除く)	☐	☒
映画鑑賞 (テレビやDVDなどは除く)	☐	☒
音楽会などによるクラシック音楽鑑賞	☐	☒
音楽会などによるポピュラー音楽・歌謡音楽鑑賞	☐	☒
CD・ビデオ・レコードなどによる音楽鑑賞	☐	☒
DVD・ビデオなどによる娯楽鑑賞 (テレビやDVDなどは除く)	☐	☒

(2)この1年間に何日ぐらいましたか
(右の1~7の数字で記入)

つづき	したかどうか	した	しなかった
(1)楽器の演奏	☐	☒	☒
邦楽 (和風、日本古来の音楽を含む)	☐	☒	☒
コーラス・声楽	☐	☒	☒
邦舞・おどり	☐	☒	☒
洋舞・社交ダンス	☐	☒	☒
書画	☐	☒	☒
華道	☐	☒	☒
茶道	☐	☒	☒
和綴・洋綴	☐	☒	☒

つづき	したかどうか	した	しなかった
(1)編み物・手芸	☐	☒	☒
料理としての料理・菓子作り	☐	☒	☒
ガーデニング・庭いじり	☐	☒	☒
日曜大工	☐	☒	☒
絵画・彫刻の制作	☐	☒	☒
陶芸・工芸	☐	☒	☒
写真の撮影・プリント	☐	☒	☒
詩・小説・俳句・小説などの創作	☐	☒	☒
園芸としての剪定	☐	☒	☒

つづき	したかどうか	した	しなかった
(1)囲碁	☐	☒	☒
将棋	☐	☒	☒
パチンコ	☐	☒	☒
カラオケ	☐	☒	☒
テレビゲームやコンピュータゲームなど(娯楽目的のものに限る)	☐	☒	☒
遊園地、動物園等が主催などの見物	☐	☒	☒
キャンプ	☐	☒	☒
その他の娯楽・娯楽	☐	☒	☒

(おなじ欄を一つずつ記入してください)

1: 1~4日 5: 40~99日(満二ヶ月)
 2: 5~9日 6: 100~199日(満三ヶ月)
 3: 10~19日(月に1回) 7: 200日以上(満四ヶ月以上)
 4: 20~39日(月に2~3回)

(審査結果)

本調査事項では、前記オと同様の変更を行うほか、報告者にとってより分かりやすくなるよう、「映画鑑賞」に係る２区分について映画館でのものとそれ以外のものに変更した上で、連続した配置とし、同様に「カラオケ」について「コーラス・声楽」の次に配置するものである。

これらについては、報告者にとっての分かりやすさ・記入のしやすさに配慮したものであることから、適当であると考える。

キ 旅行・行楽の状況

これまで、活動の種類ごとに「しなかった」又は「した」を選択した上で、「した」を選択した場合には、1年間における当該活動の実施頻度を把握する形式としていたが、

活動の有無について、当該活動をしていない場合は実施頻度欄に「0」と記入することにより把握することとする。

また、国内と海外それぞれについて「業務出張・研修・その他」を削除する。

変更案

22 旅行・行楽について
(1)どのような旅行・行楽をこの1年間に何回ぐらいいましたか
※1回以上記入した行動でも旅行・行楽として行った場合は記入してください
※2回以上記入した場合は「10」と記入してください

行楽(半日以上の日帰りも含む) 旅行(半日以上の日帰りも含む)

国内
観光旅行 レクリエーションスポットなどのための旅行を含む
帰省・訪問などの旅行

海外
観光旅行 レクリエーションスポットなどのための旅行を含む

現 行

25 旅行・行楽について
・21～24欄に記入する行動でも旅行・行楽として行った場合は記入してください
(2)この1年間に何回ぐらいいましたか
※1回以上記入した場合は「10」と記入してください

(1)どのような旅行・行楽をしましたか

行楽(半日以上の日帰りも含む) 旅行(半日以上の日帰りも含む)

国内
観光旅行
レクリエーションスポットなどのための旅行を含む
帰省・訪問などの旅行
業務出張・研修・その他

海外
観光旅行
レクリエーションスポットなどのための旅行を含む
業務出張・研修・その他

(審査結果)

本調査事項では、これまで、活動の種類ごとに「しなかった」又は「した」を選択した上で、「した」を選択した場合に実施頻度を記入する必要があったが、これらの把握事項を実施頻度欄に統合することにより、報告者負担の軽減を図るものである。

また、国内と海外それぞれの「業務出張・研修・その他」については、余暇活動に該当しないことから、削除するものである。

これらについては、実施頻度欄の変更については報告者負担の軽減に資するものであることから、おおむね適当であると考えるが、「業務出張・研修・その他」については削除によって調査結果の利活用の面から支障が生じないかについて検討する必要がある。

(論点)

- 1 従来、国内と海外それぞれについて「業務出張・研修・その他」の状況を把握してきた理由は何か。また、「業務出張・研修・その他」の把握結果については、どのような分析を行い、どのような利活用を行ってきたのか。
- 2 上記を踏まえ、報告者負担にも配慮しつつ、統計ニーズ等に照らして、「業務出張・研修・その他」を削除することによる支障はないか。
- 3 我が国における在留外国人数が年々増加している^(注)中、「海外」で「帰省・訪問などの旅行」を把握する必要はないか。

(注) 在留外国人数は平成24年末が約203万人、25年末が約207万人、26年末が約212万人であり、26年末末現在の内訳としては、特別永住者が約36万人、永住者が約67万人、留学が約21万人、技能実習が約17万人、日本人の配偶者等が約15万人、家族滞在が約13万人などとなっている。

ク スマートフォン、パソコンなどの使用状況

2日間にわたり、スマートフォン、パソコンなどの使用目的、使用時間帯及び使用時間数を把握する調査事項を追加する。

変更案

現 行

(新設)

23 スマートフォン・パソコンなどの使用について 指定された第1日・第2日に「学業や仕事以外で」使用した場合を記入してください
使用しなかった場合は6ページへ

(1) 何をするために、どの時間帯に使用しましたか
・下の自由のそれぞれについて、少しでも使用した時間帯をすべてに記入してください
・学業や仕事として使用した場合は除きます

	【第1日】10月 日()曜日												【第2日】10月 日()曜日															
	午前						午後						午前						午後									
	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時				
ネットショッピング (買い物やサービスを受ける時間を除く)																												
趣味・娯楽 (動画鑑賞・音楽鑑賞・電子書籍による読書・ゲーム など)																												
交際・つきあい・コミュニケーション ・連絡・メール・チャットなどによる会話 ・SNSやブログなどのソーシャルメディアで 行う情報交換やメッセージのやりとり など (単に情報を知るための使用は除く)																												
家族と																												
友人・知人と																												
家族・友人・知人以外の人と																												
その他の使用 (ニュースの閲覧やその他の情報収集 など)																												

(2) 合計でどのくらい使用しましたか
・学業や仕事として使用した時間は除きます

0: まったく使用しなかった 1: 1時間未満 2: 1〜2時間未満
3: 3〜4時間未満 4: 5〜6時間未満 5: 7時間以上

第2日も記入してください

(審査結果)

本調査事項は、近年のスマートフォン等の急速な普及^(注)が生活時間に与える影響を把握するため新設するものである。具体的には、別途の調査事項である「生活時間について」の調査対象日となる2日間と同じ日におけるスマートフォン、パソコンなどの使用状況(使用目的、使用時間帯及び使用時間数)を把握し、「生活時間について」において把握されたデータと合わせて分析することが想定されている。

これについては、本調査事項を新設する必要性及び把握内容の妥当性について検討する必要がある。

(注) スマートフォンの普及状況は、平成22年末の9.7%から25年末には62.6%へと急速な伸びとなっている(通信利用動向調査(総務省所管の一般統計調査)の結果による。)

(論点)

- 1 本調査事項に係る結果については、具体的にはどのような分析を行い、当該データについてどのような利活用方策が想定されるのか。そのため、どのようなクロス集計等を考えているのか。
- 2 「スマートフォン・パソコンなど」の「など」には、具体的には、何が含まれるのか。また、報告者が記入するに当たって、それについて紛れのないようにするため、どのような措置を講じることとしているのか。また、「学業や仕事以外で」の使用についてのみ把握する理由は何か。
- 3 一般的なパソコンとスマートフォンの利用特性(例えば、パソコンは自宅や職場等において使用、スマートフォンは通学・通勤等の移動時間等において使用など)を踏まえ、個々の使用状況の把握が可能となるように工夫する余地や必要性はないのか。
- 4 スマートフォン、パソコンなどの使用状況について、調査票Bでは「生活時間について」の中に「スマートフォン・パソコンなどの使用」欄を設けて把握することとしている一方、調査票Aでは「生活時間について」とは別に、本調査事項を設けて把握する理由は何か。

- 5 使用目的について、「ネットショッピング」、「趣味・娯楽」、「交際・つきあい・コミュニケーション」及び「その他の使用」の4区分としている理由は何か。また、把握する区分について、「ネットショッピング」、「趣味・娯楽」及び「交際・つきあい・コミュニケーション」の順番としている理由は何か。
- 6 使用時間帯（3時間単位）及び使用時間数（6区分）の設定としている理由は何か。把握目的からみて、このような設定で問題ないか。
- 7 その他、報告者が記入するに当たって紛れがないよう、用語の定義等は明確となっているか（例えば、「知人」にはソーシャルメディア上のみでの知人も含まれるのかなど）。